

発行責任者
公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 清崎 忠園
平塚市豊原町 23 - 14
Tel(Fax) : 0463-31-6718

隊友

湘南支部ニュース

国民と自衛隊との架け橋!

湘南支部 令和5年第1回名所旧跡探勝ハイキング「東京農業大学」

支部理事役 西村 剛

第1回名所旧跡探勝ハイキングは「東京農業大学」及び「世田谷美術館」そして「砧(きぬた)公園」という盛り沢山の計画の下、6月17日(土)天候にも恵まれ、8名の参加会員で実施する事が出来た。10時に小田急線成城学園前駅に集合の後、バス移動で「農大前」着。

東京農業大学は、旧陸軍機甲整備学校の跡地であり当時の古風な石造りの正門を入る。そこは東京農業大学世田谷キャンパスである。その学校法人としての沿革は、明治24年3月徳川育英会を母体とした私立育英農科に始まり、明治26年5月私立東京農学校と改称、明治40年1月私立東京高等農学校と改称、そして明治44年私立東京農業大学と改称、大正14年5月大学令により東京農業大学となり現在に至っている。

当キャンパスには、応用生物学部・生命科学部・地域環境科学部・国際食料情報学部が設置され、他に、厚木キャンパスの農学部、北海道網走市に在るオホーツクキャンパスの生物産業学部がある。学部生、大学院生、研究生、関連企業よりの研修者、短期交換留学生等約1万4千名近くが籍を置いている。また、東京農大の系列校として、東京情報大学(総合情報学部等・千葉県)、第一高等学校・中部部(世田谷キャンパス隣設)、第二高等学校・中部(群馬県高崎市)、第三高等学校・付属中学校(埼玉県東松山市)等がある。「国際センター」に入ると、何故か「榎本武揚」の大きな写真パネルが目に入る。掲載した写真はその前での「8ショット」であるが、榎本武揚はなんと

東京農業大学の創始者である。パネルは、帝政ロシアに於ける日本側全権公使時代の出で立ちであり、榎本武揚に関する歴史的な資料、ゆかりの品々が展示されている。また外国人留学生等を対象とした教育資料が陳列してある。

ここを出るとメタセコイア、イチヨウ、ヒマラヤ杉の林間庭園である。そこを抜けると「アカデミアセンター」があり、一階には「実学の杜」と銘打ち、本学の黎明期から現代までの記録、その他幅広い分野の研究と実践の記録が展示されている。その中で、創設期の1911年第1回選抜(入学)試験問題が目についた。①物理・化学・固体の比重を測定する方法を述べよ。など5問、②数学 ③英語の各入学試験問題は当時の学問に対する関心の深さが感じられる。また明治、大正期の卒業論文なども展示されていたが、残念ながら榎本武揚ゆかりの鉄隕石素材による「流星刀」が、修理中で見ることが出来なかったことは残念であった。その後、馬事公苑そばの「食と農の博物館」に移動する。展示物・文献などを通す箇所が多々あり、昼食後再度、博物館に取って返し、常設展エリアを「じっくり」と堪能した後、進化生物学研究所のバイオリウム巨大温室に入る。ここには、原猿類のキツネザル4種類26匹と、1mサイズのゾウ亀が居る。また、植物はマダガスカルやアマゾン地域の熱帯性の植物群を中心に栽培展示されている。見学は予想以上に時間を要し、予定の「世田谷美術館」の鑑賞と「砧公園」の散策は取り止めとなり15時に農大前にて解散となった。このため第2回の名所旧跡探勝ハイキングは、今回実施出来なかった前記

2か所巡りと今秋工事完成となる馬事公苑の散策を担当理事役として検討したい。今回、次の2点が印象深く残った。

○「東京農大の生みの親 榎本武揚」にびっくり。函館戦争での幕臣榎本武揚としか思い出せない中、東京農大見学でこのような歴史を知ることができた。

○「稲の事は稲に訊け 農業の事は農民に訊け」は初代学長横井時敬の実学の真髄と言われている。現代でも多くの示唆を与えている言葉と言える。



東京農大博物館前の巨大な鶏の像



東京農大の生みの親 榎本武揚

湘南支部長 表彰状・感謝状の贈呈
令和5年度の湘南支部長表彰状・感謝状を総会の場において次の皆様方へ支部長から贈呈致しました。長年に亘るご協力に感謝申し上げますと共に今後共ご支援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。(なお、総会に欠席された方へは郵送致しました。)

支部長 清崎忠園

表彰状(正会員)

・田中 了

平成30年以來5年間、支部理事役として役職名「会員」、「神奈川県自衛隊音楽まつり」、「広報官激励」の各担当主任としての確にその業務を遂行し、所期の成果を得ると共に、支部理事役会の円滑な活動に大きく貢献した。

・藤間順一

平成30年以來5年間、支部理事役として「事務局」及び「防災」のメンバーとして積極的にその業務を遂行し、支部理事役会の円滑な活動に大きく貢献した。

・飯 達也

平成30年以來5年間、支部理事役として主として役職名「防災」のメンバーとして積極的にその業務を遂行し、支部理事役会の円滑な活動に大きく貢献した。

感謝状(特別会員)

・泉川 博

平成28年入会以來支部の諸活動に参加、協力戴きました。

・白井忠欣

平成28年入会以來支部の諸活動に参加、協力戴きました。

・喜瀬美恵子

平成28年入会以來理事役として諸活動に参加、協力戴きました。

・牛尾裕春

平成29年入会以来支部の諸活動に参加、協力頂きました。

・山本 哲

平成29年入会以来支部の諸活動に参加、協力頂きました。

(順不同・敬称略)

隊友会県会長 表彰状・感謝状贈呈

令和5年度神奈川県隊友会会長の表彰状・感謝状が6月10日県総会の場において湘南支部の方々に贈呈されました。

感謝状・府川太郎 特別会員

湘南支部特別会員として、長きに亙り、総会、安保トークサロン、防衛講演会、部隊研修等支部の諸活動に積極的に参加し多くの協力、支援を得る等支部の活性化に大きく貢献されました。

表彰状・平川幹雄 正会員

湘南支部筆頭副支部長、湘南支部理事役、神奈川県自衛隊音楽まつり協賛活動、同活動の確な会計処理及び県理事役として、支部の諸活動及び業務運営に極めて積極的に参画し、その業務の円滑な実施に大きく貢献されました。

表彰状・吉富 望 正会員

湘南支部理事役として、支部の諸活動及び業務運営に極めて積極的に参画し、その業務の円滑な実施に大きく貢献されました。

令和5年度特集 予備自衛官について 第1回 「予備自衛官とは」

支部理事役 深澤文晴

海外では、いざという時に必要となる防衛力を急速かつ計画的に確保するため予備役制度を整備しています。

日本においても、これに相当するものとして予備自衛官等制度を設けています。普段は一般人としてそれぞれの職業等に従事しながら、一方では自衛官として必要とされる練度

を維持するために訓練に応じるものです。そして、防衛招集や災害招集などに応じて出頭し、自衛官として任務を遂行します。

陸上自衛隊は昭和29年、海上自衛隊は昭和45年、航空自衛隊は昭和61年に予備自衛官制度を発足しました。

また、陸上自衛隊においては平成9年に即応予備自衛官制度を発足、平成13年には、一般人からも予備自衛官に任官可能な予備自衛官補制度を発足しました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、予備自衛官等制度発足以来初の災害招集等が実施されました。



日本の男性育児休暇

支部理事役 鼓 達也

「子の看護休暇」を取得した男性は5.2%、女性は25.3%（内閣府2014）と差が明確である。子の看護休暇を利用しない男性の理由は「制度を知らなかったから」23.5%。「育児休業」は取得を希望する男性は30%であるが実際に取得者は6.16%である。取得期間は1か月未満が8割で子どものいる男性の3割が1か月以上取得したかったと回答している（2018年度雇用均等基本調査）。国により制度は異なるがEUでは平均20%くらいは取得しており、ノルウェーやスウェーデンでは9割の男性が取得する。日本では男性の育児休業の取得希望と実際の取得が乖離している。育児休業を取得しなかった男性の理由は「取得にくい雰囲気だから」26.6%「企業が制度を整備していないから」26%「業務が繁忙期であったから」21.2%と企業側にも原因があるようだ。国

連児童基金の世界の子育て支援政策に関する報告で、日本の男性育児休暇制度は1位の評価であるが、取得ケースは非常に少ないと指摘されている。世界1位である理由は取得可能な期間の長さ・賃金に比した給付金額の割合を国ごとに比較すると日本は世界一だが、取得率の低さはワーストである。家事子育ての時間についても女性の方が多く、男性の方がかかわる時間が少ない（厚生労働省）。理由は時間外労働や持ち帰りの仕事が多く、企業側も社員の家族のことまで気にする余裕はなく業績を重視し家庭にシワ寄せがいくのである。

2000年頃より日本では女性の就業者増加に伴い、パートタイマー比率が上昇した（2020年には36.3%）。各国定義に基づく女性パートタイマー比率は、オランダでは7割を超えている。しかし、日本でのフルタイムとパートタイム労働者の賃金水準は低く男性育児が取得しづらい。

2022.4「育児・介護休業法」法改正により、育児の分割取得・産後・パパ・休業・企業側の取得しやすい環境整備・育児取得率の公表が義務付けられた。2022.8、ダルビッシュ選手も産後取得し話題となった。そして2022年10月には産後・パパ・育児が施行され、詳細は省くが男性が育児休暇を分割取得が可能となった。母と父が交互に取得することも可能となり、長期間就業できない状態が改善される。医療者には女性が多く、医療者不足の対策にもつながるかもしれない。

隊友会の会員には企業経営者や管理的立場の者など幅広くいるのでそれぞれの立場で子育てや共働きがしやすい職場を目指していただければ幸いです。

令和5年度年会費納入者（順不同・敬称略）

湘南支部長（六月十八日現在） 次の会員各位から年度会費を納入していただきました。ご協力に感謝申し上げます。

特別法人会員

榎井興業、テクノブリッジ、平塚八幡宮

特別会員

市川和広、和栗 清、河野太郎、星野剛士、吉田 実、飯島邦光、日下部亘男、国松 誠、大野直人、木村俊雄、山本 哲、松長由美絵、塩坂源一郎、宮城寛映、鈴木道子、原 康二、

正会員

荻原洋聡、横山安廣、菅野新一、森崎賢治、其浦勇治、対馬正幸、小林 勉、

新入会員のお知らせ（敬称略）

正会員 池田周平 元陸上自衛隊

支部会員の計報

謹んでご冥福をお祈り致します

正会員 故 平牧 弘 氏

令和5年4月7日 ご逝去

「支部の予定」

- 07/08 (土) 第4回支部理事役会
07/24 (月) 7月隊友紙発送
08/05 (土) 第5回支部理事役会
08/17 (木) 8月隊友紙発送
08/下旬 (予定) 部隊研修
09/09 (土) 第6回支部理事役会
09/25 (月) 9月隊友紙発送

編集後記

「パプアニューギニアからの便り」遺骨収集記事ですが、荻原理事役が令和5年度遺骨収集事業で6月下旬から7月中旬まで出国となりますので、記事の再開は8月以降となります。今後とも各種ジャンルに亘る、ご寄稿のご協力を宜しくお願い致します。